



岩草からの景観 1



岩草からの景観 2

10月8日 七二会小学校創立120周年記念事業

長野市立七二会小学校創立120周年記念事業として、学校林の木を使って、学校の中庭に丸太の遊具を造る事業があり、SFWが施工しました。

10月8日最終仕上げの日は曇り予報に反して、一日中降ったり止んだりの天気でした。泥だらけの活動でしたが、無事迫力ある遊具が完成しました。

雨で足場が悪く泥田のようになりましたが、スリングベルトを2本から3本使って丸太の移動ができました。

低学年の児童も遊べるように、丸太の傾斜を緩くしたり、ジャンプの幅を狭くしたり、エッジのある丸太の面取りなど、いろいろ配慮して安全確保を図りました。

特に丸太の連結部には2cmのダボを入れましたが、ダボ穴を開けるのに本職さんからトルクのある電動ドリルを借りてきて行いました。

皆の協力のお陰で予定していた遊具造りの事業は午後3時頃に完了しました。

これで実際に児童に使ってもらい、どんな感想が聞きたいところです。きっと大喜びで遊んでくれることでしょう。

最後に完成した遊具と一緒に記念撮影を行い達成感を味わった一日でした。



完成した丸太の遊具



太くて重い材なので大勢の手で移動します

七二会小 丸太遊具造り	1
コーブながの里山体験教室	2
豊野西小 竹林整備	3
その他学校林整備事業など	4

SDGs を推進するため、水や資源の節減、セルフサービスの徹底に協力いただき、環境に優しいマイ箸、マイカップの持参をお願いしています。勿論、ゴミは持ち帰りが原則です。メルマガ(メーリングリスト)のアドレスは sfw-mail@sfw.or.jp です。皆さんからの情報を送ってください。登録者全員に配信されます。なお、メルマガへの登録、変更、削除は事務局 office@sfw.or.jp へお願いします。

11月13日 コープながの里山体験教室

今回は火を使うので、小川村立屋のアルプス展望広場をお借りして行いました。

今週はこの日だけ雨報で、いつから降るか気をもみながらの活動でした。

朝方はアルプスが雲の上に見えたのですが、お昼ごろから風が出て小雨模様となりました。丁度12時には活動が終わり解散しましたのでそれ程濡れずに済みました。

今回のテーマは「災害時に役立つ火起こし体験」です。

火起こしの仕方について七輪を使って説明し、家族単位で実際に体験をしました。最近は大人数でもマッチを擦ることが少なくなってきており、ましてや子供は初体験です。恐る恐る火を付けていました。

一方、半割ドラム缶で焚火をしておきを作り、枝に巻いたパン生地（枝パン）を一人1本ずつ焼きました。こんがりキツネ色になって良い香りがしてくると出来上がりです。焼きたて熱々の枝パンを食べ



熾火で枝パンを焼きます

て、みんなとても美味しいと大好評でした。家でもやってみたくてレシピを聞く人もいました。子供たちも自分で焼きながら食べられるのでとても楽しい活動でした。

10月19日 七二会岩草館 樹木医診断

長野県緑の基金の助成をいただき、岩草分校の校庭にある桜の古木を診断してもらいました。

岩草分校ができたころ植えたとすれば80年は経っており、幹はコケむして太いのですが、ずいぶん枝が枯れてしまい、あちこちでテグス病になっています。

今後どのように手当したらよいか樹木医に診断を仰ぎました。

樹種は「ソメイヨシノ」で、特徴として標高が低い(0m)地帯で育ち、始め一気に太くなるが30年以上経つと衰退してしまうようで、標高700mの岩草には合わない。しかも株間は12m以上必要で、混みすぎており、光不足でテグス病になっている。

処置としては、まずテグス病になっている枝を切る必要があるが、この土地に合わない木なので全部伐ってエドヒガン系の桜を植えたほうが良いとのこと。

費用面や景観面でどうするか地域の人と相談して進めます。一遍に伐るのは地域の皆さんは納得しないと思うので、徐々に植え替えていくのがいいかなと思います。

サクラ以外にイチイやイトヒバなどの庭木があり、これらの手入れ方法もお聞きしました。

また話題が豊富な樹木医さんで、いろいろな木にまつわる面白い話をしてくれて、とても参考になりました。

春日山神社の桜も見て頂きましたが、分校同様の状態とのことで、それに沿った手入れが必要だとわかりました。



豊野西小学校竹林整備活用事業

10月29日 竹林整備

この日は学校の周囲にある竹林の3か所を整備しました。

まずブドウ畑との境に竹と草やツルがはびこっており、刈払い機2台で昨年同様、皆伐処理しました。2か所目は上にケーブルが走っている所で、覆いかぶさっている淡竹を取り除きました。竹の細い部分や枝はナタで切り落としてチップパーに掛けました。

3か所目は、中庭に下っている斜面にある太い淡竹で密集して暗くなっており、1mの高さで切って間伐しました。その中で内径が4cm以上の竹を選んでランタン用に玉切りしました。これは後日児童が竹クラフトに活用するための材料で人数分40本作りました。

やはり竹林は本数が多いため人海戦術でないと大変ですが、この位の竹林ですと6人の手分け作業でスムーズに行きました。午後からはチップパーに掛け校舎北側の通路に散布できました。これも竹林の活用として竹の良い香りがして通路も歩きやすくなりとても良いと思います。

11月4日 竹ランタン制作指導

竹林整備で得られた太目の竹を活用して児童が竹ランタンを作り、学校行事で販売するのだそうです。

穴の大きさは昨年同様、大、中、小の3つで、児童が穴の位置を3色のマーカーで直接書いてデザインした竹をスタッフがドリルで穴明けしました。

早速できたランタンにLEDを入れて淡い光を楽しんでいました。

11月5日 竹林整備

この日は、学校より要望があった細い姫竹の中に児童が通れる通路を開設するものです。

約1m巾で2本伐開するため、竹林の下からと上からの2手に分かれて行いました。

細い竹が密集しており竹林の中は暗い程です。チェーンソーの刃を竹林用に替え、竹を伐採する人、搬出して積み上げる人の連携作業です。しかし竹の頭が垂れ下がっていたり、ツルが絡んでいたりと、簡単に倒れてくれません。長い竹は途中で短く切ってようやく処理できました。

午前中は晴れて作業はし易かったのですが、午後は風が強くなり気温も下がってきました。片方の通路はあまり密ではなかったのが午前中に完了し、もう一方の通路は過密状態のため3時頃までかかってようやく開設できました。

本年度は初回のため、歩けるように伐開しましたが、来年どうなっているか、1m切りのほうが良かったのか状況を見て活動を継続していきたいと思っています。



過密な淡竹を伐り、枝はチップパーで処理しました



児童のランタン作り



細く過密な竹林を伐開

その他 10月から12月の活動

11月8日 古牧小学校 ふるさとの森づくり

今年はきれいに紅葉したカエデやクヌギの伐採です。過密になってきた所を、1クラス2本ずつ伐倒し、枝は落ち葉のプール作りに、幹はコースターなどに玉切りして活用しました。落ち葉のプールは何年も葉っぱを入れたままだったので良い腐葉土になっていて、ビニール袋に取り出して学校の花壇などに使ってもらうことにしました。

10月1日・11月12日 松ヶ丘小学校ぼくらの裏山プロジェクト

剪定鋏やノコギリを使って児童達が切るのは、ニセアカシアやフジツルなどです。アレチウリは手で引っ張り根こそぎ取り除きました。45分程の作業でとてもきれいになりました。次はクラフトです。どんぐりや松かさを使ってプレートの上に飾ったサンプルを見ながら、児童は自由な発想で作品を作りました。いびつな形のプレートを骸骨に見立てて表現している児童もあり、発想の豊さに感心しました。

午後は古墳公園の枯れた松の処理です。枯れていても大径木で、ロープウインチで牽引して伐倒しました。枝はあまり広がっておらず、割と簡単に片付きましたが、この枝が落ちてくると危険なのです。

11月12日は、巣箱調査をしました。1つのエリアに7つ位の巣箱がかけられていますが、どのエリアも2~3か所で巣作りした形跡があり、中には卵の殻が残っていた巣もあり、あきらかに繁殖したようです。

1年生は裏山の活動が楽しいのか元気いっぱい飛び回っていました。

10月26日 三本柳小学校 学校林整備

創立30周年記念事業として、6年生全員がクラス毎に学校林を伐採し、その木を皆で薄く玉切りしクラフトに活用するものです。不要木や危険木を選び児童がおい口を入れ、皆でロープを引いて伐倒しました。思わず歓声が上がります。

その後、児童がノコギリで薄く玉切りです。各自2枚以上が目標でしたが全員クリアし、もっとたくさん玉切りした児童もいました。

これとは別に、焼印用の玉切りプレートを作って欲しいと学校より依頼され、太目の材をスライド丸鋸を使って児童の人数分(1,200枚以上)を作り納品しました。これらを使ってどんな作品ができるか楽しみです。

12月10日、11日 広徳中学校 学校林整備

クヌギの学校林を整備し、得られた材を活用してホダ木を作り、シイタケ栽培をする事業です。2年目の取り組みです。

校舎南側の半分ほどは学校で業者に依頼して間伐してあり、その続きをSFWが20本位伐採しました。最近話題になっている落ち葉の問題など近所との軋轢があり、学校長の強い要望で多く伐採しました。広葉樹は枝が広がっていて伐倒しにくいのですが、山の急斜面で鍛えた会員は平地ではとても楽です。

伐採後は1mで玉切りしホダ木を作り、それ以外は薪にしたり、枝葉は昨年作った落ち葉のプールに杭などを追加して積み込みました。伐採木が多かったため、落ち葉のプールで一度に処理しきれない分は翌日の作業としました。また道路に落ちた葉やキリコは、塵取りとホウキで始末したのですが、中々綺麗にならずブローの必要性を感じました。

12月28日に長野市七二会岩草地区の活動候補地の現地見学会がありました。大勢参加していただきありがとうございます。地域の宝である景観を活かせるよう、どんな活動ができるか各自頭に描いたと思います。今後、話し合いしながら煮詰めて、具体的な計画にしていきたいと思っています。

信州フォレストワーク通信では、皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしています。そのほか日頃感じていること、SFWでの活動や体験レポートなどお気軽にお寄せください。ペンネームや匿名での掲載も可能です。なお、記事は紙面の都合により一部編集させていただく場合があります。郵送またはメールにて事務局までお送りください。

NPO 法人信州フォレストワーク
通信編集委員会
〒381-2246 長野市丹波島1-725-5
電話・FAX: 026-285-2573
携帯電話: 090-2658-2044
office@sfw.or.jp
http://www.sfw.or.jp/

